

レポーター：この絵はインドの神話に出てくる神様の絵ですよ。

学芸員：そうですね。これはシヴァ神の奥さんとして知られるカーリー神が描かれているんですけども、通常カーリーって舌をだして、シヴァ神を踏みつけたような怖い顔で描かれることが多いんですが、これは非常におだやかな形で描かれています。

レポーター：それに頭にお花をつけて、とてもきれいな女性として描かれていますよね。

学芸員：この作家はですね、マハーデーヴ・ヴィシュヴァナート・ドゥランダールという画家さんが描いたんですけども、もともときれいな女性を描くことが得意としていたので、ここではカーリーの怖い形というよりはおだやかできれいな様子で描かれています。

レポーター：この作者の方はどういった方だったんですか。

学芸員：インドに西洋美術が入ってきて最初にアカデミックに学んだ人で、その後ですね、サー・ジェイジェイ美術学校というインドの美術学校で最初のインド人の校長になったという実力者でもあります。

レポーター：こちらの絵もかなり技術的には高い絵と・・・

学芸員：そうですね、アカデミックな技術を学んでいますので、おそらくこれがなかったらインドの人が描いた絵かどうかわからないくらい、油彩画で描かれたものを学んだ技術で描かれた絵画になりますね。

レポーター：そうですね、確かに言われてみれば、カーリー神の絵があるからインドって気づいたんですけど、下の方を見るとほんとに。

学芸員：ここはこの描かれた場所はですね、トリヴェーニー・サンガルといわれているところで、ガンガー川とヤムナー川という2つの川が合流しているところで、非常に聖なる場所として知られるんですね。なのでたくさん、ここですとかたくさんの方が沐浴にきたりしています。